

長畑ひろのり



News vol. 174

しでうなはて今昔⑤ -小楠公墓所-

所有する絵葉書から、今回は「楠木正行朝臣之墓」です。この絵葉書は171号に掲載したものと同一セットで、カラー写真に見えますが、白黒写真に手作業で色を塗った手彩色絵葉書です。手彩色絵葉書については、171号で説明をしていますので、右のQRコードよりアクセスしてご覧ください。



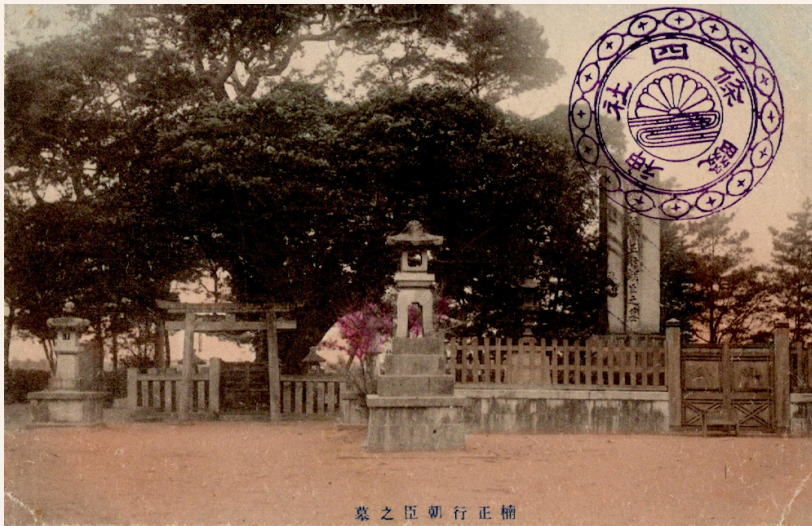
本市HPでは「伝楠木正行墓」のタイトルで、右の様

に説明されています。楠（楠木）正行（くすのきまさつら）は楠木正成（くすのきまさしげ）の子で、南北朝時代の正平三年（1348年）の四條畷の戦いで北朝方の高師直（こうのもろなお）と戦って討ち死しました。

正行の遺骸はこの地に葬られ墓石が建てられたと伝えられています。その後80年経ってクスノキ2本が植えられ、成長を続けたクスノキは墓石を包み込み2本が1本となって現在に至っています。

現在墓所にある石碑は明治11年に建てられたもので、大久保利通の揮毫（きごう）による「贈従三位楠正行朝臣之墓」の銘が刻まれています。

絵葉書の作成された年代は、宛名面から明治33（1900）年2月～明治39（1906）年と推定。



墓之臣朝行正楠



東側から撮影

絵葉書の鳥居は、塀の外から撮影した左画像では見えません。しかし、塀の間から見ると、右画像の様に、石柱2本にしめ縄を張った「しめ柱」に変わっているのがわかりました。

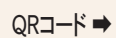


2本が1本になったクスノキの現在の状況。根元に包み込まれた石が楠木正行の墓石かも知れませんが、今となっては知る由もありません。

上の画像が、120年経過した現在の状況。ほぼ絵葉書と同じ位置の画像ですが、新たに立派な塀で囲われたため残念ながら石灯笼や石碑が見えにくくなっていました。

今号より、文章は弱視の方にも読みやすい可読性に優れたユニバーサルデザインフォントを使用しています。

長畑ひろのり事務所 Fax 072-877-1280
e-mail sky@nagahata.jp



2月定例議会における質問②

・4市リサイクル施設組合の負担金について

【長畑質問】 昨年11月4日に北河内4市リサイクル施設組合（以下、「4市リサイクル」）議会があり質問をした。その時の主な内容は次の通り。この時の両市長の答弁の要旨は。

管理者である寝屋川市長と新たに市長となられた副管理者の交野市長に尋ねる。両市として、各市における負担金割合については、今後どうすれば4市（構成4市：枚方市・寝屋川市・交野市・四條畷市）の市民が納得できる事業運営をできるとお考えか。

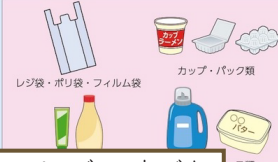
【市民生活部長答弁】 両市長とも同様の答弁で、負担金も含めた組合全体のあり方については、地方自治法に規定されているように各構成地方公共団体間の協議により定めるものとされていることから、4市リサイクルの権能を超えるものだと理解しており、各市の負担割合についても基本的には各構成地方公共団体間の協議で決めるべきものであるという主旨の答弁だった。

【長畑質問】 管理者からの答弁は重く受け止めるしかなく、そうなると各市での協議となるが、何か4市で進んでいることはあるのか。

【市民生活部長答弁】 昨年度、本市で検討した4市リサイクルのあり方の結果を構成4市で開催している部課長会議において共有を図り、今年度は共有した内容をもとに4市での協議に向け個別に負担金割合の考え方や見直し等について意見交換を行ってきたが、協議には至っていない。来年度以降、負担金割合に加え製品プラスチックのリサイクルも含めた組合全体のあり方について、4市で協議の場を設けられるよう調整している最中。

製品プラスチックと容器包装プラスチックの違い

「製品プラスチック」と「容器包装プラスチック」のちがいはわかりにくいですね。そこで今回はその違いについてご説明いたします。

	製品プラスチック	容器包装プラスチック
収集日	月1回	週1回
定義	「容器包装プラスチック」、「ペットボトル」以外のプラスチックでできている製品。他の素材がついていてもプラスチック部分が半分以上なら出せます。	プラマークがついているもの 中に商品が入っていたプラスチック製の容器・包装のこと。その商品を使用（消費）したり取り出したりした際に不要になるもの。
具体例	 <p>ザル、植木鉢、CDとCDケース、容器、レジ袋・ポリ袋・フィルム袋、カップ・パック類、スリッパ、おもちゃ、おもちゃの部品、おもちゃの部品、おもちゃの部品、おもちゃの部品</p>	 <p>プラマーク、商品として販売されているもの、商品として販売されているもの、商品として販売されているもの、商品として販売されているもの</p>

画像は、鎌倉市公式ホームページの一部です。北河内4市もここへ向かう可能性があります。

【長畑質問】 製品プラスチックリサイクルの詳細は。
【市民生活部長答弁】 これまで、プラスチック容器包装廃棄物は、包装容器リサイクル法に基づき分別収集や再商品化が行われてきたが、プラスチック容器包装廃棄物に該当しないプラスチック使用製品廃棄物、いわゆる製品プラスチックは、燃えるごみ等と一緒に処理されてきた。

こうした中、国内におけるプラスチックの資源循環の更なる促進に向け、2022年4月1日にプラスチック資源循環促進法が施行され、市区町村においても製品プラスチックの分別収集・再商品化が求められている。

現在、本市において製品プラスチックは、燃えるごみ等として処理している。しかし、今後は製品プラスチックの取り扱いについても、構成4市で協議を行いたいと考えている。

【長畑質問】 市町村において国から製品プラスチックにまで分別収集や再商品化が求められているとなると、私が問題だと指摘している負担金割合

については、これまで以上に重要となってくる。施設の増設や人員を増やすことも必要となるなど、今後4市の負担金が増額となるのは間違いない。つまり、製品プラスチックを処分することが決まるまでに、本市としては早急に負担金割合を是正しなければならない。来年度、すぐにも4市リサイクルで負担金割合の協議をし答えを出すこと、そして、その答えは搬入量割を考慮した負担金になることを要望する。

※プラスチック負担金問題を書いた市政報告は、右のQRコードよりアクセス



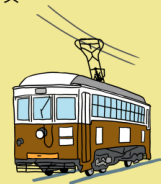
vol.162

ひろのり物語 ⑭

作：長畑ひろのり

1960年代、大阪市内の路面電車が次々と廃止になる頃

路面電車や市バスを乗り継ぎヒジ手術後のリハビリへ



リハビリ終了後母が支払いをしている最中



ひとりですごいタクシーへ乗り込み母を待つ4才児



骨折で心配をかけた上に病室は個室でリハビリの帰りはタクシーと、親には沢山お金を使わせたなあ...

